

【生徒アンケートの分析】

○生徒全体について

・肯定的評価の高い項目（上位3項目）

設問項目 1 1 「学校の施設・設備の安全点検は適切に行われている」（90.3%）

設問項目 5 「講演会や保護者懇談会、各種通信などにより進路情報が適切に提供されている」（87.2%）

設問項目 1 0 「清掃活動がしっかりと行われ、学校は美しく保たれている」（86.1%）

・肯定的評価の低い項目（下位3項目）

設問項目 1 「能登川高校では特色ある学校づくりが行われている」（75.2%）

設問項目 1 2 「学校と保護者の連携が適切に行われている」（76.5%）

設問項目 8 「学校の健康診断を受けている。また、ケガや心身の調子が悪い場合は、手当てを受けたり先生に相談している。」（78.2%）

○全日制生徒について

・肯定的評価の高い項目（上位3項目）

設問項目 1 1 「学校の施設・設備の安全点検は適切に行われている」（88.9%）

設問項目 5 「講演会や保護者懇談会、各種通信などにより進路情報が適切に提供されている」（88.4%）

設問項目 9 「学校で実施している人権統一LHRや共同鑑賞により、人権意識は向上している」（86.8%）

・肯定的評価の低い項目（下位3項目）

設問項目 1 「能登川高校では特色ある学校づくりが行われている」（75.3%）

設問項目 1 2 「講学校と保護者の連携が適切に行われている」（76.3%）

設問項目 8 「学校の健康診断を受けている。また、ケガや心身の調子が悪い場合は、手当てを受けたり先生に相談している。」（76.9%）

○定時制生徒について

・肯定的評価の高い項目（上位3項目）

設問項目 1 1 「学校の施設・設備の安全点検は適切に行われている」（94.2%）

設問項目 1 0 「清掃活動がしっかりと行われ、学校は美しく保たれている」（91.2%）

設問項目 3 「あいさつ運動、服装指導など、生活指導が適切に行われている」（83.8%）

・肯定的評価の低い項目（下位3項目）

設問項目 4 「学校全体でいじめを許さない雰囲気づくりに努めている」（74.5%）

設問項目 1 「能登川高校では特色ある学校づくりが行われている」（75.0%）

設問項目 2 「授業や補習、または課題学習などで学習内容を理解定着する工夫がなされている」（76.2%）

◎原因・要因・改善策

・学校が行う様々な教育活動に関して、生徒にその意義を十分に説明するとともに、教育課程や学校行事に本校の特色が出せるよう継続して取り組む。

・「いじめ」に関するアンケートを今後も実施し、結果について生徒に考えさせるなど事後学習をさらに充実させる。

・定時制昼間部においてもキャリア学習の取組みを実施している。今後も学校全体で個人面談の充実を図るとともに、保護者にも進路情報を発信していく必要がある。

【保護者アンケートの分析】

○保護者全体について

- ・肯定的評価の高い項目（上位3項目）

設問項目 10 「学校に行った時、教室や廊下は美しく整っていた」（94.6%）

設問項目 4 「子どもは、いじめられることなく、安心して登校している」（91.1%）

設問項目 11 「学校に行った時や電話をかけた時の職員の対応は丁寧だった」（86.0%）

- ・肯定的評価の低い項目（下位3項目）

設問項目 9 「学校で実施している人権統一LHRや共同鑑賞により、子どもたちの人権意識は向上している」（70.1%）

設問項目 6 「学校行事が活発に行われ、学校生活に活気と充実感を与えている」（73.7%）

設問項目 5 「講演会や保護者懇談会、各種通信などにより進路情報が保護者にも提供されている」（74.4%）

○全日制保護者について

- ・肯定的評価の高い項目（上位3項目）

設問項目 10 「学校に行った時、教室や廊下は美しく整っていた」（94.8%）

設問項目 4 「子どもは、いじめられることなく、安心して登校している」（93.5%）

設問項目 11 「学校に行った時や電話をかけた時の職員の対応は丁寧だった」（88.6%）

- ・肯定的評価の低い項目（下位3項目）

設問項目 9 「学校で実施している人権統一LHRや共同鑑賞により、子どもたちの人権意識は向上している」（70.6%）

設問項目 6 「学校行事が活発に行われ、学校生活に活気と充実感を与えている」（73.0%）

設問項目 5 「講演会や保護者懇談会、各種通信などにより進路情報が保護者にも提供されている」（74.4%）

○定時制保護者について

- ・肯定的評価の高い項目（上位3項目）

設問項目 10 「学校に行った時、教室や廊下は美しく整っていた」（93.8%）

設問項目 3 「あいさつ運動、服装指導など、生徒指導が適切に行われている」（92.9%）

設問項目 4 「子どもは、いじめられることなく、安心して登校している」（84.6%）

- ・肯定的評価の低い項目（下位3項目）

設問項目 2 「授業や補習、または課題学習などで学習内容を理解定着する工夫がなされている」（67.1%）

設問項目 9 「学校で実施している人権統一LHRや共同鑑賞により、子どもたちの人権意識は向上している」（68.9%）

設問項目 12 「PTAは文化祭やPTS活動などで学校と連携し、活発に活動している」（72.7%）

◎原因・要因・改善策

- ・学校の様子を、今後も学校ホームページに掲載するなど、情報発信に努める必要がある。
- ・保護者の回答では、設問項目 4 「子どもは、いじめられることなく、安心して登校している」の肯定的な回答率は高い。また、校舎内の環境整備や職員の対応についても高い評価をいただいている。子供たちが安心して安全な学校生活を過ごすことができるよう、さらに信頼される学校づくりに向けて様々な取組みを充実・発展させる必要がある。

学校評価の活用等について（課題の改善に向けた具体的な取組み等）

(領域1：学校経営)

- 総合単位制高校としての完成年度を経て、PDCAのサイクルにより常に改善すべき点を見極めることにより、県民の期待に応える教育活動の実践強化を図る。

(領域2：学習指導)

- 新学習指導要領の導入を目前に控え、生徒が自ら学ぼうとする学習姿勢を育成すべく、生徒の興味関心を引き出す授業方法（例：アクティブラーニングなど）や評価方法をさらに工夫する。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえ、本校の特色にあった授業展開を工夫する。
- 授業におけるICT活用について、さらに研究する。
- 「総合的な探究の時間」を中心に、学び直しや日本語指導を実施し「個別最適な学び」を推進する。（定時制）

(領域3：生徒指導)

- 基本的な生活習慣を徹底させるために、「厳しさ」と「きめ細かさ」のある指導および「支援」を粘り強く継続する。
- 学校いじめ防止基本方針に則り、アンケートの実施や個別面談、啓発活動等をとおして、いじめ防止に向けた取組を進める。また、いじめ対策委員会を定期的に開催して様々な観点から常に改善を図る。

(領域4：進路指導)

- 学校としての到達目標を明確にしながら、個々に応じた進路希望実現に取り組む。
- 3年間の指導計画に基づいたキャリア教育をさらに推進する。
- アルバイトと学業の両立を目指し、将来のキャリア意識を向上させる。（夜間部）

(領域5：特別活動等)

- 部活動の効率的な指導方法を追求するとともに、さらなる活性化の方策を工夫して、活気ある学校づくりのための行事の充実と見直しに取り組む。

(領域6：学校図書館)

- 読書活動の推進に向けての取り組みを充実し、授業との連携を一層図りながら、図書館利用を促進する。

(領域7：保健・安全指導)

- 教育相談や特別支援に関する情報交換や研修を通して教職員の共通理解を図り、個々の生徒支援を充実させる。個別の支援計画の作成と活用を今後も推進する。
- 外部機関との連携をさらに進めて、多角的な生徒支援の充実を図る。

(領域8：人権教育)

- 生徒が安心して学校生活を送れるよう人権意識の高揚に努め、教育環境の整備を心がける。
- 職員研修を充実させることにより、職員の人権意識を高める。

(領域9：環境教育)

- 校舎内外の美化活動に力を入れて、省エネやごみの減量化を意識した取組や指導を行う。「持続可能な開発のための教育（ESD）」を意識した環境教育も取り入れる。

(領域10：事務・管理)

- 個人情報だけでなく、様々な危機管理意識を高める。また、定期的な巡視を継続的に実施して、施設・設備の安全管理を適切に行う。
- 学校の教育活動を根底で支える事務の円滑な実施を目指す。

(領域11：その他学校の取組み)

- PTA活動のさらなる活性化を図るとともに、地域との連携を強化する。
- 充実した生活の基盤である、「食事（食育）」の意識を高める指導を工夫する。